

体験活動参加型(小学校)

学校名等	揖斐川町立大和小学校
実施日時	年間4回(3年生のみ8回)
会場	大和小学校 各教室
参加人数	53名
学習課題(分野)	「読み聞かせ活動」
運営者の願い	PTA会員に希望を募り、学校の「朝活動」の時間に保護者が自分で選んだ絵本などを教室で読み聞かせすることで、学校課題の一つである読書習慣の定着度を改善するとともに、絵本の選択など、家庭でも親子で本について会話する機会を増やし、児童がより本や読書を身近に感じられるようにしたい。また、できるだけ多くの本を紹介することで、児童が多様な価値観に触れられるようにしたい。

学習の内容

<取組の方法>

- ① 全校統一の実施日を決定し、学年ごとに「読み聞かせ」を行う会員について「参加希望アンケート」を通して実施会員を決定し、文書で周知する。
- ② 「読み聞かせ」を行う会員は、各家庭にて親子で読み聞かせに使う本を選ぶ。
- ③ 朝活動の時間に、一人から三人程度が「読み聞かせ」を行う。
(時間に余裕がある場合は、一人で2冊紹介する場合もある。)
児童が感想を発表するとともに、読み聞かせをしてくださった方にお礼を伝える。
- ④ 「PTA 学級子育て委員会」が取り組み状況を集約し、PTA 通信「振育」3月号にて、成果と課題を全会員に報告する。



<児童の感想>

「いまから ともだち」の本を読んでもらって、転校生が来ても、みんながなかよく、いっしょにすごしていたので、いいと思いました。私も〇〇さんとなかよくすごせているので、絵本と同じだと思い、うれしかったです。

<保護者の感想>

登下校の様子を見ていて、地域の方々への挨拶が十分でないと感じていたので、「あいさつって たのしい」という絵本を選びました。

読み聞かせの後の感想発表では、子どもたちは自分の今までの姿を振り返ってくれ、「次からはこうしたい。」と前向きな発表をしてくれました。

読み聞かせにおける、読み手の意図的な絵本の選択の重要性を強く感じた時間でした。



「みんなで子育て」

児童の前での「読み聞かせ活動」は、保護者にとって、事前の準備や当日の緊張感から、遠慮される場合が多い活動である。

しかし今回、PTA会員の6割以上の参加があった。この活動の意図や重要性の理解が進み、自分の子だけでなく、「みんなの子をみんなで育てる」という「みんなで子育て」という考え方も浸透してきたことの表れである。このことは、大和小PTAの成果でもあると感じている。



親が伝えたい価値を選ぶ

「読み聞かせ活動」のよさの一つに、「親自身が子どもたちに伝えたい価値を自分で選ぶことができる」ことがある。

今回の取組では、キャラクターやストーリーの面白い絵本だけでなく、「礼儀」「努力」「命の大切さ」など、様々なテーマの絵本が紹介された。

また、外国籍のお母さんが、母国語で読み聞かせをし、その子どもが日本語訳を紹介するなど、素敵な異文化交流の時間にもなった。